

向こう 1 か月の天候の見通し

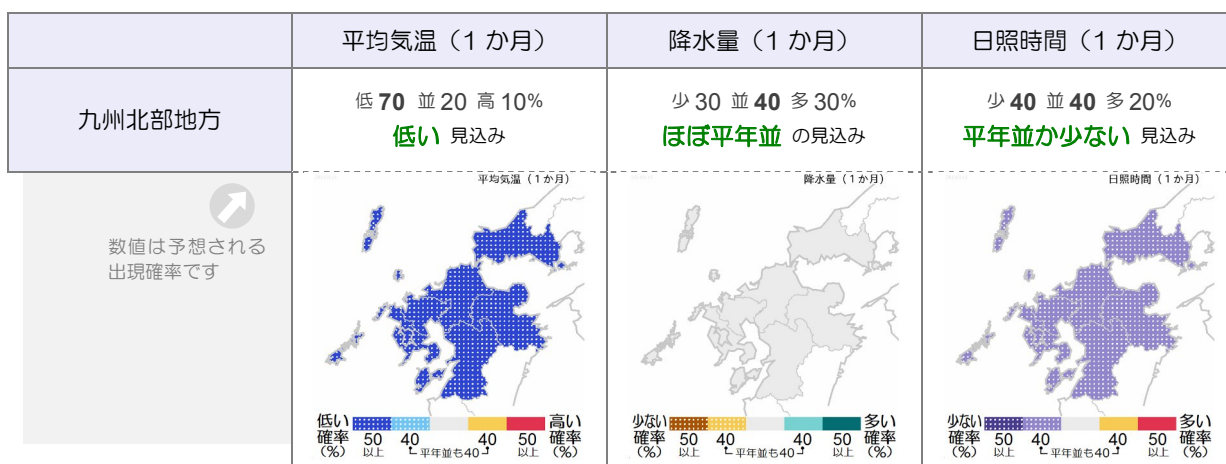
九州北部地方（1 月 20 日～2 月 19 日）

福岡管区气象台

予報のポイント

- 強い寒気が流れ込みやすく、向こう 1 か月の気温は低いでしょう。期間の前半は、気温がかなり低くなる見込みです。
- 寒気や気圧の谷の影響を受けやすく、日照時間は平年並か少ない見込みです。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間



週別の天候

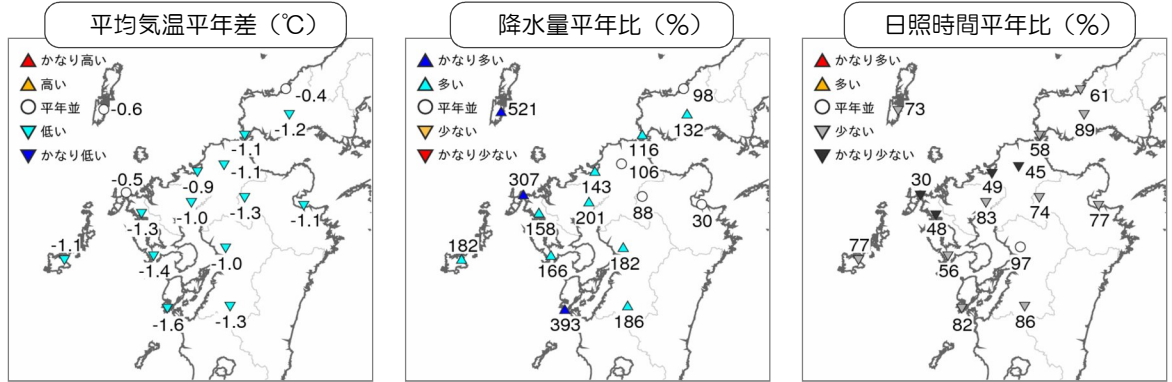
(1 週目) 1/20～26	(2 週目) 1/27～2/2	(3～4 週目) 2/3～16
期間のはじめは高気圧に覆われて晴れますが、期間の中頃は低気圧や前線の影響で雨の降る日があり、期間の終わりは寒気の影響で雲が広がりやすく雪の降る日があるでしょう。	寒気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。	寒気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確かさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

最近 1 週間の天候経過（実況） 1/11~17

期間のはじめは寒気や気圧の谷の影響で曇りや雨となりました。期間の中頃は移動性高気圧に覆われ晴れましたが、16日から17日には低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨となり、大雨となったところもありました。気温は、期間の前半は平年を下回りましたが、後半は平年を上回り、1週間平均では低くなりました。この期間の降水量は多く、日照時間は少なくなりました。



(実況) 1/11~17	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
九州北部地方	-1.1°C (低い)	188% (多い)	68% (少ない)

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
九州北部地方	平年差: -0.3~+0.4°C	平年比: 73~115%	平年比: 94~107%
福岡	6.4~7.1°C	41.9~68.0mm	101.9~114.9時間

	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
九州北部地方	平年差: -0.6~+0.6°C	平年差: -0.7~+0.4°C	平年差: -0.5~+0.7°C
福岡	5.7~6.8°C	5.7~6.7°C	6.6~7.7°C

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
福岡	12.4 日	7.8 日	2.4 日	2.2 日	2.9 日	1.9 日	7.2 日	3.7 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い(少ない):平年並:高い(多い))	解 説
高い(多い) 確率が 50%以上 (20:40:40)	高い(多い) 見込み 平年並が高い(多い) 見込み
平年並の確率が 50%以上 (40:30:30) (30:40:30) (30:30:40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
低い(少ない) 確率が 50%以上 (40:40:20)	平年並か低い(少ない) 見込み 低い(少ない) 見込み